



## 【地元造船会社・船用工業インターンシップ】

### 《目的》

地元造船会社等において実施する就業体験を通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けるとともに、造船会社等における仕事への理解を深める。

### 《実施内容》

- 地元造船会社・船用工業等における就業体験
- ラジオ体操、安全教育、企業の方との談話
- 現場実習：各種溶接、ガス切断、エンジン分解・組立
- 現場見学：船のタンカー内部・エンジンルームの見学

### 《取組内容》

- 日時 平成29年10月23日(月)～27日(金)
- 場所 地元造船会社・船用工業 等
- 対象 機械造船科2年生 40名
- 就業体験場所(計13社)

あいえず造船、浅川造船、今治造船、伯方造船  
新来島どつく、今治ヤンマー、四国溶材  
眞鍋造機、越智昇鉄工、伊藤熔工所 等

### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・安全意識の高さや仕事に対する心構え、コミュニケーションの大切さについて学ぶことができました。また、技術はもちろんのこと、学生と社会人の違いなど、学校では学べないことを学ぶことができました。
- ・厳しい人ばかりだと思っていましたが、やさしい人も多かったです。

### 《企業の方のコメント》

- ・インターンシップは、地元企業が頑張っていることを生徒に知ってもらうよい機会だと捉えている。こういう機会を一つ一つ増やすことにより、地元企業が周知されることを期待している。
- ・企業が求める人材：自分で考え行動できる人。やる気・協調性のある人。
- ・高校で学んでおくこと：挨拶。真剣に何かに取り組んでおくこと。
- ・高校教育に求めること：企業や仕事内容の周知。問題解決能力の育成。
- ・地域産業を担う人材育成には：地域企業と学校の一体化。就業体験。

### 《SPH推進アドバイザー岡田さんのコメント》

- ・各企業とも、受け入れた生徒育成のためのプログラムを準備していただいていた。また、生徒は体験したことをよくまとめて発表していた。表現力も企業で評価される重要課題である。

